

令和2年度 組織改編 人事異動

4月1日付けで組織改編と人事異動を実施。

「ひと・まちが輝く 未来創造・港湾都市 MAIZURU」を都市像に掲げる「第7次 舞鶴市総合計画」が2年目を迎えるにあたり、これまでのまちづくりの基盤をもとに、本市の豊かな自然、歴史、文化、本市最大の地域資源である「海・港」を活かし、企業立地や地域エネルギー施策、先端技術を活用した利便なまちづくりなど、さまざまな課題に対し、スピード感を持った対応を目指します。

■組織改編など

◆舞鶴版 Society5.0 推進本部 企業誘致チームの新設

高速道路網の完成、日本海側唯一の拠点港である京都舞鶴港を有する優位性と可能性を最大限に活かした企

人事交流 福知山市 と宮津市

10年後、20年後、30年後を見据え、持続可能なまちづくりを考える上で、京都府北部地域5市2町が、さまざまな分野で「相互連携」と「役割分担」により、圏域全体が活性化する広域連携施策を進めていくことが必要です。

「京都府北部地域連携都市圏ビジョン」を推進し、さらに深化させるため、平成30年には京丹後市と、令和元年度には福知山市と人事交流を行いました。今年度は、福知山市、宮津市との間で人事交流を行い、さらなる情報の共有や事業の推進に取り組みます。



業誘致や新たな産業の立地、本市経済を支える元気な中小企業の育成と支援を、全庁体制で、スピード感を持って、戦略的に進めていくため新設。

◆JMU雇用対策・関連企業支援担当(次長級)の新設
JMU舞鶴事業所の商船部門からの撤退による、地域の経済や雇用への影響を最小限に抑えるため、市が先頭に立ち、国・府・商工会議所など関係機関と連携し、雇用対策や関連事業所の経営支援のほか、子どもから高齢者まで、家族の生活などに関する相談に対応するため産業振興部に配置。

◆商工振興担当課長の新設
意欲ある事業者を後押しし、積極的に創業支援や商工振興に取り組み、府や商工会議所など関係団体との連携体制の強化、市内中小企業者の異業種交流や新たな事業展開、経営相談や事業継承などに対する支援を総合的に推進するため、産業創造・雇用促進課に配置。

産地消を図り、さらに災害時の非常電源を確保するなど、地域エネルギー施策を統括推進するため、生活環境課に配置。

◆交通政策担当課長の新設
日本初となるバス、タクシー、住民の士を送迎を組み合わせた共生型MaaS「memo」の実証実験により、住民の利便性向上と交通事業者の担い手不足を解消する打ち手になり得るのかを検証し、共生社会における新たな公共交通の構築を目指すとともに、将来にわたって持続可能な交通体系の実現に向け、企画政策課に配置。

◆マイナンバーカード普及・利活用促進担当課長の新設
マイナンバーカードを基盤とした安全・安心で利便性の高いデジタル社会と公平で効率的な行政の構築を目指し、Society5.0社会の国民共有の基盤として、マイナンバーカードの普及促進と市民にとって有効な利活用の取り組みについて、組織横断的に推し進めるため総務課に配置。

◆医療的ケア児支援担当課長の新設
日常的に家庭で人工呼吸器の使用や経管栄養、喀痰吸引などの医療的ケアが必要な子どもを持つ家族の負担軽減など支援策の充実のため、医療保健、福祉、保育、教育等関係部署の連

INTERVIEW



福知山から
舞鶴市産業振興部
みたと振興・国際交流課
伊庭弥広 さん

みたと振興・国際交流課で、港を核にした産業振興に関する業務を担当しています。

海の風景や潮の香り、古くから交易などの場として栄えた歴史や培われた文化、それを彷彿とさせる街並みも含めて、多くの魅力に溢れる知的刺激を与えてくれる「みたと」に、私はすでにファンになっています。

一人の職員・ファンとして、より深く地域の文脈を探求し、それを大切にしながら、市民の皆さんと力を合わせて舞鶴市、府北部地域の持続可能な発展に貢献したいと思えます。



宮津から
舞鶴市総務部
情報システム課
石塚純 さん

4月から情報システム課で舞鶴市の業務に携わることになりました。

働き方改革、業務改善が求められている中、近隣市町でいち早くRPA、AI-OCRといった先進技術の導入を進めてこられた舞鶴市のノウハウを学びながら、業務改善、時間短縮が実現した結果、その時間で市民の皆さんのために何ができるのかといったことを考え、業務に励んでいきたいと思っています。

また、今後さらに府北部7市町の連携は必要となってくるので、人とのつながりを築き大切にしていきたいです。



福知山へ
福知山市福祉保健部
子ども政策室
岸田由紀子 さん

この度、福知山市福祉保健部子ども政策室に配属され、児童虐待対応を担当することになりました。

福知山市では、子育てに関する窓口を子ども政策室に一本化し、妊娠期から子どもの自立期(概ね18歳)までの子育て家庭へ切れ目ない支援を行っています。児童虐待が発生してから対応はもちろんです。予防の視点も重視し、保健師や社会福祉士、家計相談員など多職種が家庭に寄り添い、他機関と連携しながら支援を行っています。そのノウハウを学び、さまざまな経験を積み、舞鶴市の子育て支援に活かせるよう職務に励みます。



宮津へ
宮津市企画財政部
企画課
本村賢吾 さん

宮津市で、府北部7市町の広域連携に関する業務などを担当しています。

全国的に人口減少や少子高齢化が進む中、将来にわたり府北部地域を持続可能で一定の都市機能を有する地域としていくために、それぞれの市町が強みを活かした主役となる一方で、自治体の枠を超えた連携の推進で、共通課題には互いに補い合うことが必要不可欠だと思います。新たな環境に身をおき、新しい人とのつながりを大事にしながら、広い視野や知識、経験を培い、府北部地域発展の一助となれるよう日々の職務に励みます。

携体制を強化し、これらの行政サービスを体的かつ効果的に推進するため、子ども支援課に配置。

◆女性職員の活躍推進
異動の規模は職員797人中230人。令和元年度の退職者は34人、令和2年度の採用者は20人。職員総数は811人から797人へ、14人の減。女性職員の割合は40.8割、係長に女性が占める割合は31.9割、管理職に女性が占める割合は20.0割(いずれも病院と消防を除く)。

◆人事異動
【部長】(内は前役職)
▽総務部長(議事事務局局長)岡野昌和
▽健康・子ども部長(子ども総合対策室長兼幼稚園・保育所課長兼乳幼児教育センター所長)田中昭
▽産業振興部長(観光まちづくり室長)小谷裕司
▽議事事務局局長(産業振興部付次長(京都府北部地域連携都市圏振興社派遣)櫻井晃人



市ホームページに
詳細を掲載中